

貸借対照表

会社名 株式会社 アデランス

2026年2月28日現在

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|---------------|---------------|-------------------|---------------|
| 科 目 | 金 額 (百万円) | 科 目 | 金 額 (百万円) |
| 【流動資産】 | 9,578 | 【流動負債】 | 10,679 |
| 現金及び預金 | 1,602 | 買掛金 | 292 |
| 受取手形 | 165 | 短期借入金 | 3,582 |
| 売掛資産 | 2,587 | 1年内返済予定長期借入金 | 1,941 |
| 貯蔵品 | 35 | リース債務 | 119 |
| 前払費用 | 3,322 | 未払金 | 950 |
| 関係会社短期貸付金 | 545 | 未払費用 | 588 |
| その他 | 548 | 未払法人税等 | 614 |
| | 322 | 預り金 | 27 |
| | 448 | 賞与引当金 | 682 |
| | | 商品保証引当金 | 380 |
| | | 契約負債 | 1,361 |
| | | その他 | 139 |
| 【固定資産】 | 29,665 | 【固定負債】 | 7,356 |
| (有形固定資産) | (4,022) | 長期借入金 | 400 |
| 建築物 | 3,382 | 社債 | 3,000 |
| 機械装置 | 30 | リース債務 | 119 |
| 車両運搬具 | 1 | 退職給付引当金 | 863 |
| 工具器具及び備品 | 0 | 資産除去債務 | 2,959 |
| 土地 | 244 | その他 | 13 |
| リース資産 | 98 | 負債合計 | 18,035 |
| 建設仮勘定 | 215 | 純 資 産 の 部 | |
| (無形固定資産) | 49 | 【株主資本】 | 21,082 |
| 特許権 | (659) | 資本金 | 100 |
| 商標権 | 0 | 資本剰余金 | 26,001 |
| ソフトウェア | 1 | 資本準備金 | 13,157 |
| (投資その他の資産) | 657 | その他資本剰余金 | 12,844 |
| 投資有価証券 | (24,983) | 利益剰余金 | 6,842 |
| 関係会社株式 | 168 | 利益準備金 | 1,022 |
| 関係会社長期貸付金 | 19,707 | その他利益剰余金 | 5,820 |
| 敷金及び保証金 | 3,682 | 繰越利益剰余金 | 5,820 |
| 繰延税金資産 | 2,374 | 自己株式 | △ 11,860 |
| その他 | 176 | 【評価・換算差額等】 | 64 |
| 投資損失引当金 | 17 | その他有価証券評価差額金 | 64 |
| 貸倒引当金 | △ 26 | 【新株予約権】 | 61 |
| | △ 1,119 | 純資産合計 | 21,208 |
| 資産合計 | 39,244 | 負債・純資産合計 | 39,244 |

損益計算書

会社名 株式会社 アデランス

自 2025年3月1日
至 2026年2月28日

| 科 目 | 金 | 額 (百万円) |
|--------------|-------|---------|
| 売上高 | | 33,598 |
| 売上原価 | | 8,190 |
| 売上総利益 | | 25,407 |
| 販売費及び一般管理費 | | 23,839 |
| 営業利益 | | 1,567 |
| 営業外収益 | | 633 |
| 受取利息 | 92 | |
| 受取配当金 | 2 | |
| 為替差益 | 412 | |
| その他の | 125 | |
| 営業外費用 | | 1,156 |
| 支払利息 | 179 | |
| 貸倒引当金繰入額 | 754 | |
| 店舗閉鎖損失 | 101 | |
| 売上債権売却損 | 100 | |
| その他の | 21 | |
| 経常利益 | | 1,044 |
| 特別利益 | | 145 |
| 固定資産売却益 | 0 | |
| 子会社清算益 | 145 | |
| 特別損失 | | 516 |
| 固定資産除却損 | 7 | |
| 投資有価証券評価損 | 114 | |
| 減損 | 46 | |
| 関係会社株式評価損 | 344 | |
| 子会社清算損 | 2 | |
| 税引前当期純利益 | | 674 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 623 | |
| 法人税等調整額 | △ 194 | 429 |
| 当期純利益 | | 244 |

株主資本等変動計算書

自 2025年3月1日

至 2026年2月28日

(単位：百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | | | |
|---------------------|---------|--------|----------|---------|-------|---------------------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 |
| 当期首残高 | 100 | 13,157 | 12,844 | 26,001 | 1,022 | 5,575 | 6,597 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純利益 | | | | - | | 244 | 244 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | - | - | - | 244 | 244 |
| 当期末残高 | 100 | 13,157 | 12,844 | 26,001 | 1,022 | 5,820 | 6,842 |

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|----------|--------|------------------|----------------|-------|--------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評 価差額金 | 評価・換算差額等 合計 | | |
| 当期首残高 | △ 11,860 | 20,837 | 36 | 36 | 61 | 20,935 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 当期純利益 | | 244 | | | | 244 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | 28 | 28 | - | 28 |
| 当期変動額合計 | - | 244 | 28 | 28 | - | 273 |
| 当期末残高 | △ 11,860 | 21,082 | 64 | 64 | 61 | 21,208 |

個別注記表

[重要な会計方針に係る事項に関する注記]

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

関係会社株式 …… 移動平均法による原価法
その他有価証券
時価のあるもの …… 決算期末日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの …… 移動平均法による原価法

(2) たな卸資産

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

商品
ウィッグ(オーダーメイド) …… 個別法
ウィッグ(レディメイド) …… 移動平均法
その他の商品 …… 移動平均法
貯蔵品 …… 移動平均法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 定率法
(リース資産を除く) ただし、1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物…3年～47年
構築物…10年～15年
機械装置…7年～12年
工具器具…2年～20年
及び備品

無形固定資産 …… 定額法

(リース資産を除く) なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

リース資産 …… リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法

(所有権移転外ファイナ
ンス・リース取引に係
るリース資産)

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金 …… 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金 …… 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 商品保証引当金 …… 販売商品の無償保証契約に基づく補修費に充てるため、過去の補修実績を基礎として、その必要額を見積計上しております。

(4) 退職給付引当金 …… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金及び退職給付費用の処理方法は以下のとおりです。

①退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

②数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌期から費用処理しております。
未認識数理計算上の差異の貸借対照表における取扱いが連結貸借対照表と異なります。

(5) 投資損失引当金 …… 関係会社等への投資に対する損失に備えるため、その財務内容等
を検討し、必要額を計上しております。

4. 重要な会計上の見積り
- ・繰延税金資産の回収可能性
 - (1) 当事業年度の計算書類に計上した金額

| | |
|-----------------|---------|
| 繰延税金資産 | 176百万円 |
| (相殺前の繰延税金資産の金額) | 716百万円) |
 - (2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

連結計算書類「注記事項（重要な会計上の見積り）」に記載した内容と同一であります。
5. 重要な収益及び費用の計上基準
- 当社及び連結子会社の顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。
- ① 製品の販売（男性用、女性用オーダーメイド・ウィッグ）

男性用、女性用オーダーメイド・ウィッグの販売は、顧客に製品を引き渡した時に資産の支配が顧客に移転するため、当該時点で収益を認識しております。
 - ② 製品の販売（レディメイド・ウィッグ（既製品））

レディメイド・ウィッグ（既製品）の販売は、エンドユーザーへの直接販売と卸売業者への販売があります。このうち、卸売業者への販売は返品権付販売を行っております。当該販売は将来、返品が見込まれる金額を過去の実績に基づいて算定し、同見込額を収益額から控除するとともに返金負債を計上しております。また、同返品に基づき回収が見込まれる製品相当額について返品資産を計上しております。
 - ③ 製品の販売（ヘアケア商品）

ヘアケア商品の販売は、顧客に商品を引き渡した時に資産の支配が移転するため、当該時点で収益を認識しております。
 - ④ サービスの提供（増毛・育毛・植毛・理美容サービス）

顧客からの要請に応じたサービス収入は、役務提供完了時点で履行義務が充足されると判断し、当該時点で収益を認識しております。
6. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
- (1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
 - (2) 消費税等の処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

[貸借対照表に関する注記]

| | | |
|--|--|-----------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | | 11,119百万円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権・債務（区分表示したものを除く） | | |
| 短期金銭債権 | | 705百万円 |
| 短期金銭債務 | | 94百万円 |
| 3. 担保に供している資産および担保に係る債務 | | |
| 金融機関等からの借入金500百万円に対して、担保に供している資産は以下のとおりです。 | | |
| 建物 | | 7百万円 |
| 土地 | | 98百万円 |
| 有価証券 | | 158百万円 |
| 商品 | | 1,909百万円 |

〔損益計算書に関する注記〕

1. 関係会社との取引高

| | |
|---------------|----------|
| 営業取引による取引高 | |
| 売 上 高 | 177百万円 |
| 仕 入 高 | 3,759百万円 |
| 商 品 有 償 支 給 高 | 68百万円 |
| 販売費及び一般管理費 | 472百万円 |
| 営業取引以外の取引高 | 92百万円 |

〔株主資本等変動計算書に関する注記〕

1. 当事業年度の末日における自己株式の数

| | |
|------|--------------|
| 普通株式 | 130,805,025株 |
|------|--------------|

〔税効果会計に関する注記〕

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(1) 繰延税金資産

| | |
|---------------|------------|
| 関係会社株式評価損 | 7,837百万円 |
| 関係会社出資金評価損 | 244百万円 |
| 貸倒引当金 | 396百万円 |
| 減価償却限度超過額 | 90百万円 |
| 減損損失 | 94百万円 |
| 退職給付引当金 | 302百万円 |
| 賞与引当金 | 235百万円 |
| 資産除去債務 | 1,048百万円 |
| 棚卸資産評価損 | 126百万円 |
| 投資損失引当金 | 9百万円 |
| ポイント引当金 | 54百万円 |
| 投資有価証券評価損 | 380百万円 |
| その他 | 316百万円 |
| 繰延税金資産小計 | 11,136百万円 |
| 評価性引当額（繰越欠損金） | －百万円 |
| 評価性引当額 | △10,420百万円 |
| 繰延税金資産合計 | 716百万円 |

(2) 繰延税金負債

| | |
|-----------------|---------|
| 資産除去債務に対応する除去費用 | △482百万円 |
| その他 | △56百万円 |
| 繰延税金負債合計 | △539百万円 |

(3) 繰延税金資産の純額

176百万円

〔関連当事者との取引に関する注記〕

(1) 親会社及び法人主要株主

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金又は出資金 | 事業の内容又は職業 | 議決権等の被所有割合 (%) | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) |
|------|-------------------------|------|----------|-----------|----------------|-----------|-----------|------------|
| 主要株主 | インテグラル2号投資事業有限責任組合 (注1) | 千代田区 | — | エクイティ投資 | 被所有 直接49% | 担保受入 | 担保受入 (注2) | 5,118 |

(注)1. Integral Fund II (A) L.P. の株式も含めております。

(注)2. 担保受入は、当社の金融機関からの借入に対する、株主の保有する株式の担保提供であります。

(2) 子会社及び関連会社等

| 種類 | 子会社等の名称 | 資本金又は出資金 | 事業の内容又は職業 | 議決権等の所有 (被所有) 割合 (%) | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|-----|---------------------|----------|--------------------------------|----------------------|----------------|---------------------|------------|---------------------|--------------|
| 子会社 | ㈱アデランスメディカルリサーチ | 100 百万円 | 医療向け商品販売・開発 クリニック 運営サポート | 所有 100 | 資金の貸付 役員の兼任 | 資金の貸付 利息の受取 (注1) | 100 5 | 関係会社 貸付金 未収収益 | 520 1 |
| | ADERANS EUROPE B.V. | 15 百万ユーロ | 持株会社 | 所有 100 | 資金の貸付 役員の兼任 | 資金の貸付 利息の受取 (注1) | — 47 | 関係会社 貸付金 未収収益 | 2,191 127 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注)1. 貸付金の利率については、市場金利を勘案して合理的に決定しております。

(3) 役員及び個人主要株主等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金又は出資金 (百万円) | 事業の内容又は職業 | 議決権等の所有 (被所有) 割合 (%) | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|------------|------------|-----|----------------|-------------|-----------------------|-----------|------------|------------|----|------------|
| 役員 主要株主 | 根本信男 | — | — | 当社 代表取締役 | 被所有 直接18% 間接30% | 資金の借入 | 資金の借入 (注1) | — | 社債 | 3,000 |
| | | | | | | 担保受入 | 担保受入 (注2) | 5,020 | | |

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注)1. 社債の利率は、市場金利等を勘案して合理的に決定しております。

(注)2. 担保受入は、当社の金融機関からの借入に対する、株主の保有する株式等の担保提供であります。

〔収益認識関係〕

収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は「(重要な会計方針に係る事項に関する注記) 5. 重要な収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

〔1株当たり情報に関する注記〕

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 186円 91銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 2円 17銭 |

[その他の注記]

(減損損失)

当事業年度において、当社は以下の資産について減損損失を計上しております。

(1) 資産グループの概要及び減損損失の金額

(単位：百万円)

| 用途 | 場所 | 種類 | 金額 |
|--------------------|--------|----------|----|
| フォンテース事業 営業用設備他 | 関東他4地域 | 建物 | 42 |
| | | 工具器具及び備品 | 4 |
| 総合計 | | | 46 |

(2) 減損損失の認識に至った経緯

フォンテース事業の一部の営業用設備については、継続的に営業損失を計上しており、かつ将来キャッシュ・フローの見積り総額が各資産グループの帳簿価額を下回るため、減損損失を認識いたしました。

(3) 資産のグルーピング方法

当社は、アデランス事業部は地域別に設置された営業部を基礎とし、営業部傘下の営業店間のキャッシュ・フローの相互補完性を考慮の上、グルーピングを行っております。なお、フォンテース事業部は店舗ごと、その他営業部門は事業ごとにグルーピングしております。

(4) 回収可能額の算定方法

営業用設備の回収可能価額は、使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローがマイナスのため回収可能価額を零として評価しております。

[重要な後発事象に関する注記]

重要な後発事象はありません